

## 迎春

### 『元気の出る大曲仙北・秋田』 の実現を！

あけましておめでとうございます。  
皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、いつもあたたかいご支援とご協力を賜りありがとうございます。

さて、今年は県議会議員として4年目に入り、来春の改選に向けて大事な年であると認識しております。また選挙区が拡大し定数も1名減と厳しい戦いになると覚悟しております。

心の時代といわれる今、私たち地域の安らぎやゆとり、そして県民生活の向上という視点からも、本県の基本課題である少子・高齢化対策に的確・果敢に対処することが、私共の使命であります。

私は、常に住民の立場に立ち、県民一人ひとりが将来に夢と希望を持てるような『元気の出る大曲仙北・秋田』の実現をめざすというこれまでの基本スタンスのもと、今年も積極果敢に挑戦し、さらなる努力を重ねる所存であります。

皆様には何卒これまで以上のご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとりまして最良の年でありますことをお祈り申し上げ年頭に当たってのご挨拶といたします。

秋田県議会議員 渡部英治



西仙北高校創立40周年記念事業の柳葉敏郎さん「ドークライブ」にて

## 郷土の誇り

大仙市大曲球場落成式記念祝賀会にて  
フ口野球名球会員の山田久志氏と



2006年

西村副知事を迎えて！

## わたなべ英治県政報告会 新春の集いのご案内

とき 平成18年2月4日(土) 午後4時  
ところ 大曲エンパイヤホテル  
会費 4,000円



# 渡部県議に期待します！

## 『同級生として熱いエールを』

仙北組合総合病院長 小野地 章 一



小野地院長との意見交換

あけましておめでとうございます。

皆様には益々ご健勝にて、新年をお迎えのことと存じます。

さて、渡部県議は、皆様の力強いご支援により、県議1期目としては、充実した活動を続けていると確信しております。

特に、県政全般について、これまでの一般質問や総括質疑・各種委員会での政策提言や活発な発言など積極的な姿勢が感じられます。

しかしながら、人口減少や少子化問題をはじめ、厳しい県財政の中で県政には、むずかしい課題が山積みしており、県議としての役割と責任はますます重大であります。

同時に、地域課題の取り組みも大切であり、とりわけ、先の12月議会での渡部県議が一般質問で取り上げた『仙北組合病院の改築整備』については、病院経営に関わる者として、地域の中核的病院の使命と地域医療の充実のためにも、地元関係者との協力体制を基本としながらも、早期実現に向けた積極的な取り組みを大いに期待するものであります。

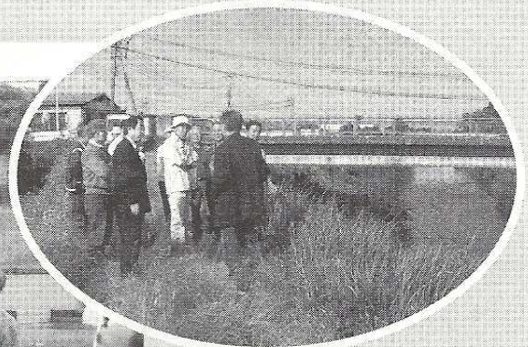
渡部県議の今後さらなる躍進に、同級生として熱いエールを送ります。



いぶきミーティングへ参加  
(ニート・ひきこもり問題・7月)



防犯協会・交通安全合同看板設置  
(内小友地区支部・7月)



窪堰川堤防に係わる現地調査  
(大花・福田地区・10月)



みらい21まちづくりリフォーラム  
(南ヶ丘ニュータウンに関して)  
の進行役として・11月)



農林水産委員会の県内調査  
(秋田鶏卵食品工業・11月)



決算特別委員会の副委員長として  
決算審査の進行(委員長代行・11月)

《お問い合わせ》 わたなべ英治後援会

大仙市大曲田町23-10 TEL・FAX 0187-66-1700

いつも変わらぬご支援に  
感謝しております



寺田知事・西村副知事・品田出納長と傍聴者の皆さんとの記念撮影（12月県議会）



## 英治の主な県議活動

昨年一年間の主な活動について、スナップ写真を中心にご報告します。



秋田内陸線の利用率アップ  
として、仲間との交流（6月）



知事選での地元支援者の皆様と（4月）



寺田知事を迎えて  
わたなべ英治県政報告会（2月）



農林水産委員としてオーガニックファーム  
大潟圃場の現地視察（6月）



議会運営委員会・議会改革小委員の委員に就任（6月）

# 渡部県議の一般質問（12月定例議会）



1. 人口減少問題と財政問題（人口減少抑制策他）
2. 雇用対策について（新たな雇用の創出、ニート対策他）
3. 少子化対策について（子育て支援の充実、子育てと仕事の両立）
4. 生活習慣病と自殺の予防対策について
5. 仙北組合総合病院の改築整備について
6. 「人づくり」について（知事のめざす「人づくり」他）

## 大仙・仙北の最重点課題である仙北組合総合病院改築の早期実現を！ （渡部県議の質問と寺田知事の答弁の概要）

- 渡部）** 第1に、この度の第3期実施計画の中に鹿角、湖東の両病院と同様に、仙北組合総合病院移転新築整備の促進と支援を明記すること。  
第2に、地元大仙市が中心となって、土地の先行取得などについても念頭に入れた強い覚悟で臨んでいることから、事業主体である厚生連との協議の場を県が調整役として、早急に設置すること。  
第3に、農水省に対して、仙北組合病院の移転新築整備を加えた財務改善計画の見直しについて、知事が先頭に立って要請していただきたい。  
以上、3点について強く要望し、寺田知事の前向きな期待できるご所見を伺いたい。
- 知事）** 1点目は、建設用地の選定・確保や建設資金の調達、移転後の跡地利用など多くの課題があり、まちづくりを含めた総合的な整備構想の検討が必要。県はあきた21総合計画第3期実施計画案に、改築に向けた検討を進めることを盛り込んでいる。  
2点目は、今後、仙北地域振興局を中心に、地元自治体等関係機関と密接な協議を進め、地域の熱い期待に応えるような将来構想をできるだけ早く策定するよう厚生連に対し積極的に働きかけていく。  
3点目は、600床を超えるベットを有する県内有数の大病院であり、多額の事業費が必要であり、農協法が求める固定比率の改善に大きく影響するものと思われる。しかし、地域医療の確保は県の責務であり、また大仙市をはじめ地元の熱意も強いことから、引き続き農水省に対し、厚生連の経営財務改善計画の推進に理解と支援が得られるよう強く要請していく。
- 再質問）** 知事が農水省に率先して働きかけるということは大変ありがたい。改築問題では医師の確保も非常に大事な問題であり、これから益々高度医療化が進む中で、仙北組合病院がそれに対応できるか否か、その機能を果たせるか心配であります。  
そういったことを勧告すると、固定比率、農協法の問題を何とかしなければならぬと思うが、知事は、地元、そして厚生連の意気込みを感じながら、そういった弊害を乗り越えて取り組んでいくとのことあります。しかし、固定比率の達成率だけを考えると、なかなか10年スパンとかでは行かないと思います。知事の答弁は、それもクリアして早い時期に、たとえ実施計画の22年まで間に合わなくとも、それに近い形で取り組んでいくと私は理解しましたが、その点について再確認したい。
- 知事）** 厳しい質問であります。農協法による固定比率等々により、病院改築の見通しが立たない状況との質問と受け止めます。  
県としては、基本的な考え方として、県民がよりよい医療を受けられるという考え方はいささかも変わっていません。  
仙北組合病院は老朽化しており近代医療に対応するには早急な改築であると思う。できるだけ早く病院サイド、地元において、用地の確保、病院の特長をどう活かすか等、目標設定して決めるべきであり、その時点で病院の改築についてはスピードアップを図れると思う。勿論県サイドも地域医療計画の中では厚生連病院は、できるだけ早期改築という目標設定をしているので、さらに地元の努力をしてもらいたい。